



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
 コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 金原 利道
 (氏名) 李 太煥
 TEL 0463-82-1311

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,025	5.7	985	0.5	1,026	3.1	435	4.8
29年3月期第1四半期	10,432	2.0	991	16.7	995	9.8	457	2.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 323百万円 (%) 29年3月期第1四半期 866百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	15.07	
29年3月期第1四半期	15.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	55,941	31,141	42.7
29年3月期	55,835	31,640	42.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,878百万円 29年3月期 23,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,100	1.4	1,200	26.0	1,450	8.9	500	28.2	17.31
通期	42,400	1.8	2,850	18.2	3,200	11.6	1,350	4.5	46.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	28,978,860 株	29年3月期	28,978,860 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	93,468 株	29年3月期	93,428 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	28,885,392 株	29年3月期1Q	28,885,838 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、輸出・生産の持ち直しや雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要はあるものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は景気回復に伴う販売好調を背景に底堅く推移しました。海外市場は中国・米国で販売水準に減速感があるものの、欧州やその他の地域では好調を維持し、全体としては概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大、自動車用精密鍛造歯車の販売好調、バルブリフター新規量産の立ち上がり等により前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、中国・ベトナムにおける生産拡大等の増加要因はあったものの、北米・台湾における受注減少や為替換算の影響等により海外事業全体としては前年同期に比べ減収となりました。この結果、売上高は、110億25百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

損益面につきましては、北米・タイ・ベトナムにおけるコスト削減等により増益となったものの、国内事業および中国におけるコスト増加、台湾の受注減少、PBW事業立ち上げコスト発生等の影響により、営業利益は、9億85百万円（前年同期比0.5%減）となりました。経常利益は、支払利息・為替差損の計上が前年同期に比べ少額であったことから増加し、10億26百万円（前年同期比3.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の計上が前年同期に比べ多額であったことから減少し、4億35百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大や新規量産の立ち上がり等により四輪車用エンジンバルブ、二輪車用エンジンバルブともに増加し、前年同期に比べ大幅な増収となりました。海外事業は、アジア地域では、台湾・インドネシアにおける受注減少や為替換算の影響等の減収要因はあったものの、中国・ベトナムにおける生産拡大等によりアジア地域全体としては前年同期に比べ増収となりました。北米地域では、一部製品の生産拠点移管や為替換算の影響等により減収となりました。欧州地域では、為替換算の影響はあったものの既存製品の受注増加により増収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の増加により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、国内当該事業および中国におけるコスト増加、台湾の受注減少、為替換算の影響等の減益要因はあったものの、北米・タイ・ベトナムの生産性改善に伴うコスト削減等の効果により前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、87億64百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は、9億22百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、円高や需要低迷の影響により組付部品・補給部品の販売が低調であったことから、前年同期に比べ減収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、受注減少の影響等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億10百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、40百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

<可変動弁・歯車・PBW>

可変動弁につきましては、前年同期に比べ増収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、産業機械用製品は横ばいとなりましたが、北米・中国向け自動車用製品の販売好調により、前年同期に比べ増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、PBW事業立ち上げコスト発生等の影響により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億86百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント損失（営業損失）は、23百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）30百万円）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、新規量産の立ち上がりや中国向け製品の販売好調により、前年同期に比べ増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が増加し増収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、前年同期と同水準となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億24百万円（前年同期比36.1%増）、セグメント利益（営業利益）は、34百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）3百万円）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、559億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億6百万円の増加となりました。

資産の部の流動資産は、215億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億48百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が4億26百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、343億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億41百万円の減少となりました。この主な要因は機械装置及び運搬具（純額）が2億22百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が1億57百万円、投資有価証券が1億49百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、127億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億87百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が増加したことなどによるものであります。

固定負債は、120億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億81百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産の部では、311億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億99百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が1億91百万円、非支配株主持分が4億80百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想は、平成29年5月12日公表の「平成29年3月期決算短信」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,455,295	6,452,250
受取手形及び売掛金	7,861,368	8,288,152
商品及び製品	2,247,969	2,279,041
仕掛品	1,385,427	1,418,257
原材料及び貯蔵品	2,530,424	2,438,956
繰延税金資産	239,595	239,639
その他	575,753	427,574
流動資産合計	21,295,834	21,543,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,259,555	6,102,146
機械装置及び運搬具(純額)	14,554,539	14,777,211
土地	1,269,189	1,268,765
建設仮勘定	2,207,036	2,207,494
その他(純額)	627,593	610,064
有形固定資産合計	24,917,915	24,965,683
無形固定資産		
投資その他の資産	499,733	470,596
投資有価証券	8,257,422	8,108,285
出資金	940	940
長期貸付金	51,538	50,567
繰延税金資産	444,552	437,277
その他	382,293	379,978
貸倒引当金	△14,800	△15,400
投資その他の資産合計	9,121,946	8,961,648
固定資産合計	34,539,595	34,397,928
資産合計	55,835,429	55,941,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,211	3,582,570
短期借入金	3,096,970	3,652,618
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	359,393	355,583
繰延税金負債	757,241	743,795
賞与引当金	346,524	91,278
役員賞与引当金	53,300	—
その他	3,686,666	4,198,549
流動負債合計	11,977,308	12,764,396
固定負債		
社債	440,000	440,000
長期未払金	11,100	3,100
長期借入金	5,820,525	5,708,590
繰延税金負債	1,901,845	1,805,933
退職給付に係る負債	3,760,649	3,810,450
その他	283,851	268,327
固定負債合計	12,217,972	12,036,402
負債合計	24,195,280	24,800,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,500,424	4,494,518
利益剰余金	12,880,502	13,141,498
自己株式	△46,226	△46,241
株主資本合計	21,865,243	22,120,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,628,140	3,436,159
繰延ヘッジ損益	△3,635	1,301
為替換算調整勘定	△890,001	△999,432
退職給付に係る調整累計額	△702,608	△679,498
その他の包括利益累計額合計	2,031,896	1,758,529
非支配株主持分	7,743,009	7,262,153
純資産合計	31,640,149	31,141,002
負債純資産合計	55,835,429	55,941,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,432,262	11,025,600
売上原価	8,600,114	9,118,046
売上総利益	1,832,147	1,907,554
販売費及び一般管理費	840,994	921,746
営業利益	991,153	985,808
営業外収益		
受取利息	6,713	8,623
受取配当金	73,181	70,669
持分法による投資利益	61,395	58,401
雑収入	14,242	18,946
営業外収益合計	155,532	156,639
営業外費用		
支払利息	60,699	36,150
為替差損	85,263	73,509
雑損失	5,570	6,485
営業外費用合計	151,533	116,145
経常利益	995,152	1,026,302
特別利益		
固定資産売却益	373	1,579
特別利益合計	373	1,579
特別損失		
固定資産除却損	13,174	6,895
固定資産売却損	—	224
減損損失	—	623
特別損失合計	13,174	7,743
税金等調整前四半期純利益	982,351	1,020,138
法人税等	178,937	254,600
四半期純利益	803,413	765,537
非支配株主に帰属する四半期純利益	346,157	330,208
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,255	435,328

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	803,413	765,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△710,394	△191,936
繰延ヘッジ損益	—	7,345
為替換算調整勘定	△919,126	△344,174
退職給付に係る調整額	18,714	19,775
持分法適用会社に対する持分相当額	△59,162	66,609
その他の包括利益合計	△1,669,969	△442,379
四半期包括利益	△866,556	323,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△805,555	161,961
非支配株主に係る四半期包括利益	△61,000	161,196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	8,500,255	840,513	718,297	10,059,066	373,195	10,432,262	—	10,432,262
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	306,606	306,606	△306,606	—
計	8,500,255	840,513	718,297	10,059,066	679,802	10,738,868	△306,606	10,432,262
セグメント利益 又は損失(△)	893,906	49,827	30,055	973,789	△3,231	970,557	20,595	991,153

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額20,595千円は、セグメント間取引消去62,095千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△41,500千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車・ P B W	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	8,764,477	810,546	886,319	10,461,343	564,257	11,025,600	—	11,025,600
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	360,658	360,658	△360,658	—
計	8,764,477	810,546	886,319	10,461,343	924,916	11,386,259	△360,658	11,025,600
セグメント利益 又は損失(△)	922,233	40,567	△23,755	939,045	34,129	973,174	12,633	985,808

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,633千円は、セグメント間取引消去50,661千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△38,028千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。